

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

# HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

71

2022/10



電子カルテと連携した自動錠剤分包機による、  
正確で安全な調剤を行っています

Zoom Up!  
OzuCentral Hospital



【調剤業務】

医療の進歩に伴い、薬物療法も高度化・複雑化し、医薬品の種類も増加してきています。適切に取り扱うためには、薬剤に関する幅広い知識が不可欠で、お薬の専門家である薬剤師が、チーム医療の中でも重要な存在となっています。当院には、常勤薬剤師6名と非常勤薬剤師1名が所属しており、調剤助手2名と共に、多様化する薬剤業務を担っています。薬剤師の主な仕事は、処方箋を基にお薬を揃える調剤業務、お薬について説明をする服薬指導、また、医師や他の職員との連携等があります。今号は当院の薬剤科について紹介させていただきます。

## 外来業務

外来処方については、原則院外処方箋となっ

ており、お薬は調剤薬局で調剤されます。薬の変更や疑問がある場合には、調剤薬局から直接処方された病院に問い合わせがありますので、薬剤科で対応しています。調剤薬局と連携する事で、入荷困難な薬剤を事前に把握して、次の受診までにお薬を準備できる事もあります。また、糖尿病の患者さんに対しては、インスリンの自己注射や自己血糖測定器リブレに関する指導にも関わっています。

## 入院業務

入院業務では、処方された薬剤の調剤はもちろんですが、特に注力しているのが持参薬の確認です。近年医療の多様化により、定期薬を服用されている患者さんが多く、複数の医療機関

に通院されているケースも増えています。持参された薬剤には、指示された用法や用量で服用されていないと推測される事例もあり、そのような時は処方された病院や調剤薬局に現在の処方内容を確認し、医師や看護師に報告します。特に、自己調節されている薬剤や、飲めていない薬剤の報告については、慎重に情報交換するようにしています。また、ベッドサイドで直接患者さんに薬剤についての説明を行っています。その際は、会話の中から飲み難さがないか、薬が多くて困っておられるのではないかなどを聞き取ることも重要な仕事です。

## 医師との連携

患者さんに必要なお薬は、医師が電子カルテ

お薬の作用・副作用や服薬方法を、  
分かりやすくお伝えするように心がけています



Zoom Up!  
OozuchuoHospital



【服薬指導】

に処方を入力すると、薬剤科に処方内容のデータが転送され、薬剤師が調剤を開始します。その際、電子カルテシステムの中で様々なチェック機能が働きますが、薬剤科でも、再度用量の確認や重複投与、併用禁忌薬が処方されていないか等を確認めます。システム上のチェック機能には限界もあり、気になる処方がある場合は、必ず医師に確認して調剤するようにしています。



薬剤のダブルチェック

また、お薬の中には薬物治療モニタリング (TDM : Therapeutic Drug Monitoring) の必要な薬剤があります。これは、お薬の体内での有効濃度の幅が狭く、少ないと効果が出ない、多いと重篤な副作用が起こりやすい薬剤に用いられています。薬剤科では、抗生剤の中で特に注意を要する薬剤について、身長や体重、腎機能等に応じた薬剤の用量を提案し、その後実際に服用中の薬剤の血中濃度を確認し、医師に用量の調節を依頼する事もあります。TDMに携わる場合は、シミュレーションソフトを用いて予測を立てた用量の提案をしますが、個体差も大きく薬剤師の力量が問われる業務の1つでもあります。

## チーム医療

薬剤科では、主な業務に加えて、チーム医療の一員として参画する事も増えてきました。当院でも、ICT (感染対策チーム)、AST (抗菌薬適正使用支援チーム)、NST (栄養サポートチーム)、褥瘡対策チーム、糖尿病チーム、肝炎コーディネーターとして、多職種で情報共有し、患者さんの治療や職場環境の整備等にも関わっています。

特にICTでは、新型コロナウイルス感染症の流行にも関連しますが、院内感染防止や患者さんの感染症治療等にも重要な役割を担っています。



ASTカンファレンス



新型コロナウイルスワクチンの準備

また、近年ASTもクローズアップされており、当院でもASTを立ち上げ、指定された抗菌薬使用中の患者さんを対象に、週1回活動しています。感染担当の医師が、看護師や検査技師、薬剤師より提出された情報を基に、抗菌薬の使用方法は適切か、現在使用中の抗生剤の種類は適切か等を総合的に判断します。必要時には、その結果を処方した医師に報告し、薬剤の変更や追加等について提案する事もあり、より良い治療方法について多職種で検討しています。

## 実習生の受け入れ

当院でも、平成29年より薬学部の学生実習の受け入れを開始、地元での実習を勤めている大学もあり、大洲出身の薬学生の実習を受け入れました。実習は、調剤薬局と病院薬局でそれぞれ10週間実施され、開始当初は学生さんも受ける側も緊張していましたが、10週目には打ち解けることができ、実習終了時には寂しささえ感じました。今後も、薬剤師育成の為に実習の受け入れを継続し、多くの薬剤師の輩出に貢献していきたいと思っています。

近年、薬剤師の仕事は多岐にわたり、お薬を取り揃え準備だけをしていた時代から大きく変化しています。患者さんと直接お話しする機会も多くなり、お薬の管理についてより深く関わられるようになってきました。今後も、病院内に薬剤師が居てよかったと思って頂けるよう、スキルアップに努めてまいります。



## お薬に関する3つのお願い

### 用法、用量を守り服用しましょう

効果的な治療を行うためには、「医師が患者さんに合ったお薬を処方し、患者さんがきちんと服用する」という行為が欠かせません。医療の進化は著しく、以前は根治が難しいと言われていたC型肝炎は、飲み薬だけで完治する事が可能な時代になりました。しかし、C型肝炎ウイルスの治療薬も、数日の飲み忘れで完治できない確率が上がると言われています。医師は、処方した薬を患者さんがきちんと飲んで下さっていることを想定して治療を進めます。もし飲み忘れがあれば、過度な薬を処方してしまうかもしれません。それでは反って健康を損ねてしまうかもしれませんし、無駄な薬代も支払わなくてはいけなくなります。

### 決められた保存方法で保管しましょう

最近話題の新型コロナウイルスワクチンは、-80℃で冷凍保存し使用時に溶解するようになっており、その状態でないと薬剤の構造が

変化し、十分な効果が期待できなくなります。このように、お薬には決められた保存方法があります。外来で処方される錠剤等は、通常、高温多湿を嫌います。中には冷所保存の薬剤や、1包化できない薬剤もあります。お薬の品質保持の為に、お薬は決められた保存方法で保管してください。ご不明な場合は、お薬をもらった薬局や薬剤師にお尋ねください。

### お薬手帳をご持参ください

患者さんが、いつ、どこで、どのようなお薬を処方されているかを記載しているのが「お薬手帳」です。前述しましたように、数か所の医療機関を受診されている患者さんも多く、それまでにどこの医療機関でどのようなお薬が出されて服用されているかの情報が、治療を行う上でとても重要です。お薬手帳があると、急な入院の際にもお薬の変遷が分かり治療の一助になったり、新しいお薬が処方される時の重複投与や、禁忌薬の併用等を防ぐ事ができます。愛媛県内でも、お薬手帳が普

及してきていますが、直近のお薬の内容が添付されていなかったり、病院ごとにお薬手帳がある患者さんをお見かけすることがあります。医療機関や調剤薬局でお薬をもらう時には、必ずお薬手帳を持参し、最新のお薬情報を1冊の手帳に貼ってもらうようにしてください。



お薬手帳

お薬は、患者さん個々の病気によって異なり、医師は、複数のお薬を組み合わせで治療を行っています。お薬の種類が増えたりして迷われる事もあるかと思いますが、ご不明な点がございましたら、薬剤師に気軽にお声をかけてください。



## 栗入りおこわ

### ■材料 (4人分)

米	1 合
もち米	1 合
栗	5、6 個 (皮なしで 100g)
小豆	40g
水	300ml
小豆の茹で汁	50ml
塩	小さじ 1/2
黒ごま	適量

### ■作り方

- ①小豆は洗って鍋に入れ、たっぷりとかぶる量の水を注ぐ。中火にかけ、沸騰したら火をやや弱めて3分ほどゆでて、ゆでこぼす。
- ②小豆に新しい水をいれ、15-20分ほど固めにゆでる。ゆで上がったら豆と茹で汁を分ける。
- ③栗は皮を剥き、半分に切る。
- ④米、もち米を洗い、ざるに上げて水を切る。
- ⑤炊飯器に洗った米、もち米を入れ、水300mlと小豆の茹で汁50mlを入れる。炊飯器におこわの水加減がある場合はそれに合わせて水加減を調整する。
- ⑥塩を加え、米の上に小豆、栗を広げて入れ、炊飯する。
- ⑦炊き上がったら全体を混ぜ、器に盛り付け、炒った黒ごまをかける。



Point  
小豆は食べてみて  
少し硬いくらいの固さに  
ゆで上げましょう

大洲中央病院栄養科

## 院内美術館

すぐそばにある絵画

37



『富士に献花 ひまわり』  
片岡球子 作

## 力強い富士山が待合ホールで皆さんをお迎えします

今回は、待合ホールにある富士山の絵です。作者の片岡球子さんは2008年に103歳の生涯を閉じました。この『富士に献花 ひまわり』は92歳の時の作品です。富士山という偉大なる存在に花を捧げるという構成で、雄大にそびえる赤富士と咲き誇るひまわりを、彼女の特徴である野太い線と激しい原色で表現し、強烈な印象を与えています。皆さんもこの絵の雄大さを感じてください。



片岡球子(かたおかたまこ) / 1905年-2008年 / 昭和・平成時代に活躍した日本画家。日本芸術院会員・文化功労者・文化勲章受章者。北海道札幌市出身。

次号は、平井利明  
「ひとしなす街角」をご紹介します。

### 防災訓練に参加して

近年、地震や豪雨などの災害に対する報道が多くなってきています。4年前には西日本豪雨で大洲市・喜多地区も甚大な被害を受けました。

病院やスーパーなどの多数の人が出入りする施設は、特定防火対象物に指定されており、年に二回以上の消火・避難訓練が義務付けられています。当院でも、8月22日・25日に防災委員会主催の消火器使用訓練を行いました。初期消火の手順や消火器の種類、使い方について説明を受けた後、実際に消火器を使用して消火訓練を行いました。普段から消火器を目にする機会は多いのですが、実際に使用したことはなく緊張しました。使用してみると、冷静にイメージ通り消火することができ、良い経験になりました。突然の災害にも、冷静かつ迅速に対処することの重要性、また普段から防災設備の確認をすることも改めて大切だと思いました。今後も、防災訓練に積極的に参加し、災害時に迅速且つ冷静に行動できるようにしていきたいと思います。



放射線科 西山 公基

### 令和4年度「優良特定給食施設」として 厚生労働大臣表彰を受けました

令和4年8月29日、当院栄養科が本年度の「優良特定給食施設」として厚生労働大臣表彰を受賞しました。この表彰は、給食管理運営の顕著な功績が認められた施設に対して授与されるもので、今年度は全国で当院を含め13施設が受賞しました。

当院栄養科では、「思いやり」と「優しさ」のある良質で安全な医療の提供という病院の理念のもと、施設内での患者さんの給食運営を行っています。病院では、患者さんの病態に合わせた治療としての食事が提供されますが、食事は生活に欠かせない大切な要素でもあります。栄養科では、入院生活の中で食事が楽しみとなるよう、選択メニューや季節を感じる事ができる行事食を取り入れ、日々美味しい食事を提供できるような尽力しております。また、個別対応にも力を入れており、個々の患者さんの状態に応じて食事内容を細かく調整し、食欲不振の患者さんには、少しでも食べていただけるように病棟スタッフと情報交換を行いながら、嗜好を取り入れたメニューを提供しています。栄養科一同のみならず、病院長をはじめ病院スタッフ全員の栄養に対する取り組みが評価され、今回の表彰に繋がったことは大変誇らしく光栄に思います。今後もより良い給食運営を目指して、栄養科一同努力してまいります。



栄養科長 二宮 藤子

### 外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	上原 貴秀	休診日	大久保啓二	大久保啓二	上原 貴秀	大久保啓二
	2診	岡本 傳男		岡本 傳男	上原 貴秀	岡本 傳男	岡本 傳男
	3診	井上 明子		井上 明子	井上 明子	大久保啓二	非常勤
	4診	浅川 建史		清家 愛理	清家 愛理	非常勤	浅川 建史
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	山下 優嗣		山下 優嗣	山下 優嗣	愛大医師	山下 優嗣
	2診						藤澤 圭史
泌尿器科	清水 公治			清水 公治	清水 公治	清水 公治	
脳神経外科	1診(新患)	相原 寛		相原 寛	西川 真弘	重川 誠二 末廣	橋本 尚樹(※1) 重川 誠二(※3) 戸田 茂樹(※2・4)
	2診(再診)	西川 真弘		西川 真弘	西原 潤		西原 潤
形成外科						真田紗代子(※1・3・5) 森 秀樹(※2・4)	

受付時間	午前8時00分～午前11時30分
診療開始時間	午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。 (休診になる場合あり)
休診日(10～1月)	救急診療のみ… 12月30日(金)、12月31日(土)、1月1日(日) 休診日… 火曜、水曜、10月10日(月)、11月3日(休)、1月2日(月)、1月9日(月)
お見舞い・面会時間	午後1時00分～午後5時30分 (新型コロナウイルス感染予防のため変更になる可能性がありますので、事前にお問い合わせください。)

※1月から整形外科担当医師が一部変更になります。



社会医療法人 北斗会  
**大洲中央病院**



### ◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院  
(日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜総合病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、  
喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、  
市立八幡浜総合病院(夜)

### 編集後記

“食欲の秋”到来で、ついつい食べ過ぎてしまいます。最近、食事管理アプリを使って毎日の糖質・脂質・炭水化物の摂取量の計測を始めました。気を付けているつもりでしたが、糖質や脂質を摂りすぎていたタンパク質が少なかったりと、改善点がたくさんありました。健康寿命を延ばすためにも、今から食生活に気を付けて、適度な運動を心掛けたいと思います。皆さんも旬の食べ物の誘惑にはご注意ください！

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院  
編集/広報委員会

- 東 研志(事務部長) /
- 京河 雅史(放射線科長) / 竹岡 照枝(看護師長)
- 道休 由佳里(看護師長) /
- 井上 結希(リハビリテーション科) /
- 大西 修平(リハビリテーション科) /
- 藤岡 真里子(栄養科) / 井上 明子(栄養科) /
- 黒田 都(医事課主任) / 九鬼 宏美(総務課)